



本学のこれまでの対応状況

- 1/31 ●「新型コロナウイルス感染症について」を通知【保健管理センター】(以降 第12報まで通知)
- 2/25 ●危機管理委員会「新型コロナウイルス感染症への本学の対応について」(以降 第8回まで実施)
- 3/4 ●北海道科学大学の学位記授与式(3/18)中止を通知
- 3/11 ●北海道科学大学の入学式(4/3)中止を通知
- 3/12 ●北海道科学大学施設内への関係者以外の立入禁止を通知
- 3/17 ●新型コロナウイルス感染者発生時の対応マニュアルを常任理事会に提出
- 4/17 ●危機管理委員会の下に「新型コロナウイルス感染症対策室」を設置
- 4/20 ●緊急事態宣言【政府】に基づく休業要請(4/17~5/6)
 - 「前田キャンパスにおける新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応方針」を策定
 - 生活困窮学生に対する生活支援金制度の策定及び授業料の延納措置を決定

生活支援金制度について

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活環境が著しく低下した学生への支援措置として、「生活支援金」50,000円を支給しました。

- 4/21 ●緊急事態宣言に伴い、前田キャンパスが「制限レベル2」へ
 - 「緊急事態宣言に伴う、本学の対応について」を通知(対象期間:4/22~5/6)
 - ・キャンパス入構制限 ・教職員の在宅勤務

- 4/30 ●ガウン、滅菌手術用手袋を寄贈

薬学部が実習用として所有している、ガウン約800枚、滅菌手術用手袋1900組の防護具を北海道薬剤師会へ寄贈しました。



- 5/1 ●「キャンパスの入構制限について」を通知【学長】(5/7~31)
 - ・キャンパス入構制限 ・教職員の在宅勤務
 - 「遠隔授業の実施及び通信環境整備支援金の給付について」学生に周知

遠隔授業通信環境整備支援金について

自宅に通信環境が整備されていない学生あるいは通信量制限などで遠隔授業の受講が不安な学生に対し、「遠隔授業受講のための通信環境整備支援」を目的に、学生一人あたり30,000円を支給しました。

- 5/11 ●遠隔授業開始
- 5/20 ●「新型コロナウイルス感染症対策基金」を創設
- 6/15 ●一部対面授業がスタート

最新の対応状況を本学ホームページ内「新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ」に掲載しています。
<https://www.hus.ac.jp/info/activity/covid-19.html>



今回、取材した先生方から、
医療現場で働く卒業生についてお話を聞くことができました。

新型コロナウイルスという目に見えない脅威の前に卒業生は日々奮闘しています。肺炎の治療に深く関わる人工呼吸器やECMOは、臨床工学技士がその操作を一手に担います。「コロナウイルス感染者の治療に人工呼吸器やECMOを使う場合には、そこに必ず臨床工学技士がいます。患者さんに直接つながっている医療機器を操作するわけですから、感染のリスクは非常に高く、恐らく防護服を着て日々の業務にあたっているのでは。感染の危機にさらされながらも、チームで患者さんの命と向き合っているのだと思います」と臨床工学科の先生は話します。

看護学科では、先生が卒業生たちにコロナ禍の様子をSNSで尋ねると、多くの声が寄せられました。圧倒的な物資不足と、人材不足。コロナ病棟を担当した卒業生は出入口も、更衣室も、歩く通路も完全に分けられ、誰にも接しない日々が続いたと言います。他にも、N95という息苦しささえあるマスクの上にサージカルマスク、フェイスシールド、防護服を着て、蒸し風呂のような環境で勤務にあたった人。面会禁止を受けた家族の不平不満を聞き続けた人、手術の件数が尋常じゃなく増えたという人。「でも」と、先生は続けます。「でも、なんであんなに強いんだろう。文句を言っても良い状況なのに、言わないで耐えている。どこかに『患者さんのために』っていう思いがあって、それがみんなのプライドなのかな」

今この時も、医療現場の最前線で働く先輩方の背中を見て、一生懸命追いかける後輩たちがここにあります。みなさんの頑張りが、わたしたちの誇りです。